

果樹農家のみなさまへ、時季ごとの耳より情報をお届けします



黒とう病の伝染源の除去を！



- 今年6月上中旬に降水量が多かったため、主力品種のシャインマスカットを中心に**黒とう病**の発生が見られています(写真1)。
- 来春の萌芽までの管理作業で重要なことは、病原菌の**越冬量を少なく**して、来シーズンを**健全な状態**で迎えられるような環境整備です。

- そのためには、今のうちから、**巻ひげ**や**発生**の**見られる新梢**を除去する**耕種的防除**を実施しましょう(写真2)。



写真1. 黒とう病の感染果房・新梢

写真2. 秋季における巻ひげの管理



残された足跡から獣の種類を推定



- 目撃する機会の少ない獣は**足跡**も参考にして**獣種を推定**後、対策を実施します(図)。
- 偶蹄類の**イノシシ**、**シカ**は2本の**ヒツメ**の跡を残します。
- 肉球を持つイヌ、ネコは4本指の足跡ですが、他の多くの獣は**5本指の足跡**を残します。**サル**の親指は**短く**、**外側**を向きます。
- サル、**アライグマ**は**長い指**の足跡を残します。

イノシシ



後2本(副蹄)の跡は、地面が柔らかいと残る

シカ



4本指。跡が残るのは前2本

サル



親指が短く4本にみえることも

アライグマ



指5本で指が長い

ハクビシン



指5本で指が短い

図. 果樹園で被害が認められる獣の足跡 (改訂版 野生鳥獣被害防止マニュアル)